

(1) 地域振興面からの整備効果

別紙

① 企業誘致の支援

- 小城スマートICの整備により、高速道路へのアクセス性が向上し、企業誘致を支援することで、雇用の創出、工業振興が期待されます。
- 高速道路へのアクセス性は企業進出時の重要な要件であり、進出検討企業からは、小城スマートICの動向について問い合わせが多く、関心の高さが伺えます。



▲小城スマートIC整備に伴う
小城岩蔵工業団地の高速ICアクセス性の変化

<小城岩蔵工業団地に進出を決定した企業の声>

- 飲料メーカーとして、名水百選の水源に近いというイメージ戦略メリットがあり、岩蔵工業団地への進出を決定。
- 製造品の出荷には高速道路(佐賀大和IC、多久IC)を利用しており、小城スマートICが整備されることにより、高速アクセス性が向上し、時間短縮効果が期待出来る。



▲ 小城岩蔵工業団地
(区画面積：約25,000m²)

② 物流効率化の支援

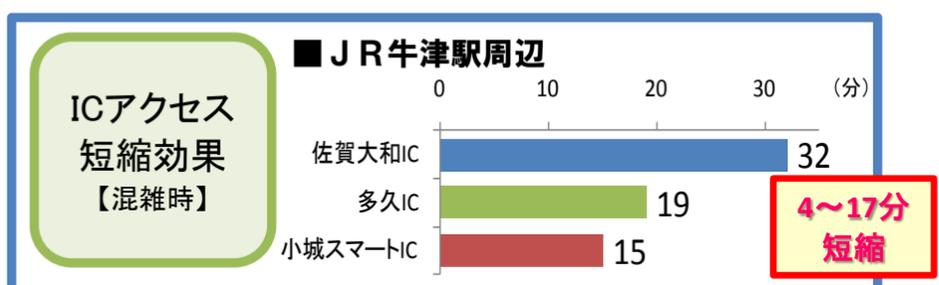
- 佐賀大和IC、多久ICへのアクセス道路である国道34号、203号、(主)佐賀外環状線では、渋滞が著しく走行性が低下しています。
- そのため、到着時間遅れが発生し、円滑な物流が阻害されています。
- 小城スマートICの整備により、渋滞の著しい国道34号等を回避することが可能となり、定時性の確保など、物流の効率化が期待されます。



▲小城スマートIC整備に伴う物流効率化の支援
(JR牛津駅周辺～佐賀大和IC間)

<物流事業者の声>

- 佐賀大和ICへのアクセス道路では、**夕方の渋滞が著しく、新門司港から出発するフェリーに間に合わない**ことがよくある。
- 小城市内の朝の渋滞の影響で、**到着遅れが発生**している。
- **小城スマートICを利用することにより、物流コスト削減**が期待される。



③観光振興の支援

- 小城市では、観光地の魅力度を向上し、観光客増加を図るため、清水の滝周辺環境整備事業(大型バス駐車場整備等)、中心市街地活性化推進事業を実施しています。
- 小城スマートICの整備により、高速道路へのアクセス性が向上するため、広域的な交流が活発化し、観光客増加が期待されます。
- また、小城市内での滞在時間が増加し、小城市の観光振興が期待されます。

▼小城スマートICから小城観光地までの距離



(2) 地域防災面からの整備効果

- 佐賀平野に位置する小城市では、集中豪雨による浸水被害が頻発しており、また、概ね100年に1回程度起こる大雨により、国道203号、(主)佐賀外環状線では冠水被害が予測されます。
- 「佐賀平野大規模浸水危機管理計画」では、広域応援・緊急輸送路ネットワーク施策のひとつに「SA・PAでの接続ポイント」を位置づけられています。
- 小城スマートICの整備により、浸水被害時の緊急輸送ルートの確保が可能となり、地域の安全性確保が期待されます。



▲ 浸水被害時の緊急輸送ルート
資料: 小城市洪水ハザードマップ

▼ 災害時の応援協力体制

協定書等種別	協定先
佐賀県常備消防相互応援協定書 (火災・救急・救助・その他災害)	佐賀県下の消防本部 (5本部)

資料: 佐賀広域消防局「平成29年版消防年報」



■ 緊急時のアクセスポイントの整備
出典: 佐賀平野大規模浸水危機管理計画

▼ 災害時の医療活動体制

	病院名	所在地
基幹災害医療センター	佐賀県立病院好生館	佐賀市
	国立大学法人佐賀大学医学部附属病院	佐賀市
地域災害医療センター	多久市立病院	多久市
	やよいがおか鹿毛病院	鳥栖市
	唐津赤十字病院	唐津市
	有田共立病院	有田町
	白石共立病院	白石町

資料: 佐賀県地域防災計画

(3) 救急救命活動面からの整備効果

- 小城市には、第二次救急医療施設である小城市民病院、ひらまつ病院が立地しています。
- 小城市西側に位置する多久市には、第二次救急施設が多久市立病院しかないため、多久市方面から小城市民病院への救急搬送者が増加しています。
- 小城スマートICの整備により、救急搬送時間が短縮し、多久市民の安全・安心な生活を支援することが期待されます。



▲ 小城スマートIC整備に伴う多久市方面から小城市への救急搬送ルートの変化予想